

2019年9月27日 第3307回例会

早朝例会

横須賀商工会議所

於：

<点鐘・開会> 7:30 田邊 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<会長報告> *ガバナー事務所より

・2020-2021実施年度向け第1回地区補助金説明会のご案内について

10月26日(土) 13:00~15:00 於:第一相澤ビル3階

・公共イメージ・奉仕プロジェクト合同セミナーのご案内について

11月15日(金) 13:00~17:00 於:ミナパーク6階

<委員長報告> *ローターアクト委員会福西委員長より第2回ローターアクト委員会 報告

<幹事報告> *ロータリー米山記念奨学会より豆辞典 受領

<出席報告> *出席委員会 大竹委員より9月27日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
119名	100名	63名	37名	4名	67.00%

<ニコニコ報告>

・久保田、関 口、中村(働) 各会員 誕生月祝いとして

・三 役 加賀本会員、本日の卓話宜しく願いいたします。

・畑、田 中、小山(働)、小 平、齋藤(働)、小山(働)、鷺 尾、久保田、角 井、

大竹、岡 田、瀬 戸、上 林、梁 井、新倉(働)、飯 塚、土 田、

松本(働)、大 野、福 西、八 卷、杵 渕、澤 田、若麻績、白 井、

勝 間、関 口、猿 丸、小林(-)、中村(働)、八 木、山田(働)、前 田、鈴木(働) 各会員

加賀本会員、おはようございます。栄えある早朝例会での卓話おめでとうございます。お話とっても楽しみです。

・加賀本 会員 本日の卓話、すごく緊張しています。宜しく願い致します。

・小 沢 会員 朝食例会楽しみです。

・飯 塚 会員 おはようございま〜す。

・八 卷 会員 早朝例会は是非今回限りで！次回やるならかつ井で。

・角 井 会員 皆さ〜んおはようございます。朝一の例会楽しみましょう。気合いだ！気合いだ！気合いだ！気合いだ！気合いだ！気合いだ！角井だ！角井だ〜！

・渡 邊 会員 写真をいただいて

<新会員卓話>

加賀本 好 美 会員



皆様、おはようございます。昨年6月に入会させていただいた加賀本好美です。人前でお話をすることが苦手ですので大変緊張しています。温かい気持ちでお聞きくださいますようお願いいたします。

まず、生い立ちからお話をさせていただきます。

私はツイッギーが来日したり、ミニスカートが流行したり、タイガースなどのグループサウンズがブームとなった昭和42年5月、母方の出身である静岡県伊東市の叔母の自宅で加賀本家の長女として生まれました。母は13歳の時に実母を亡くしているので、8歳年上の姉夫婦が親代わりとなり、里帰り出産を支えてくれたそうです。

私自身は横須賀でずっと育っていますが、父は広島県呉市の出身、母は静岡県伊東市の出身です。両親は、母が就職していた伊東市のゴルフ場に父が調理師として入社してきて出会いました。お互いに芯が強く、しっかりとした性格に惹かれたようで、昭和40年代初頭では珍しく、3歳年上の姉さん女房という形で2人は結婚しました。そして、結婚を機に両親は、父の叔父が住んでいた横須賀に引っ越して来ました。横須賀も呉も古くから軍港の街として発展しているため、雰囲気や街並みがよく似ています。そんなことからこの街に住みついたのかと想像しています。

私が生まれた時から小学校5年頃まで、安浦町1丁目の借家に住んでいました。安浦港に漁船が停留し、ワカメが干してある潮の香りがする中で、2歳下の妹と近所のお兄さん、お姉さん、同級生、年下の子と外で「どろじゅん」という追いかけっこのような遊びをしたり、お互いの家を行き来しあったり、夏には安浦港で花火をしたりして遊んでいました。今よりも町内の子供達同士がとても仲良しで、深い関わりをもって遊ぶ事ができた良い時代だったように思います。また、恥ずかしいお話ですが、私は当時の娯楽の中心であったテレビに出演している歌手に憧れ、安浦神社のお祭りで行われていた「のど自慢大会」に参加し、舞台では、幼なじみの友達や妹と小柳ルミ子さんの「瀬戸の花嫁」を歌って、参加賞をいただいた懐かしく楽しい思い出があります。

私がそんな幼少時代を過ごしていた7歳の時、父は独立して米が浜に小さなスナックを開店しました。店名は「宮島」です。父の出身地である広島県の厳島神社の宮島から名づけました。小さかった私たち姉妹を親友の家に預け、夫婦二人三脚で頑張ったこと、従業員の方々の皆さん、常連のお客様にも恵まれたこと、たくさんの方々の支えがあって仕事は軌道にのり、5年生になると米が浜にマンションを購入し、持ち家に住むことができました。

その後、常葉中学校に入学し、部活はバスケット部に入部しました。勉強もおろそかに部活動に熱中していました。横須賀市の中では強いチームではありませんでしたが、練習はとても厳しかった記憶があります。当時のバスケット部の同期が小山陽生会員の奥様です。彼女とは誕生日が一緒なので、大変なご縁を感じます。中学校に入り、後の高校受験の事など深く考えずのんびりしすぎた結果、部活引退後にあわてて高校受験の勉強をする事になりました。その結果、新設校だった初声高校に一期生として入学することができました。そして、部活は心機一転、テニス部に入部しましたが、部員が多かったため、きちんとした練習が出来ないこともあり、入部2ヶ月後には帰宅部になっていました。そんな中、中学当時から知り合いだった女子バスケ部のキャプテンから、「夏休み明けに多くの退部者が出てしまい、部員数が3名になってしまった。」と相談を受け、バスケット経験者ということで声がかかり、1年生の秋頃から再びバスケットを続けることになりました。中学・高校を通してバスケットを続けたことは、今でもスポーツ好きであることに繋がっているのかもしれない。

高校卒業後は、旅行関係の仕事に興味があったので、ビジネス専門学校に通いました。そして、専門学校卒業後、旅行関係の会社に就くことは出来ませんでしたが、蒲田にある会社に就職して経理事務の仕事をしました。そこに2年ほど勤めた後、横浜の建築資材を扱う会社に転職しました。10歳以上年上の女性社員が多い職場で、仕事に馴染めずにいた私を短期のパートとして勤めていた女性の先輩が気にかけてくださ



り、応援していただきました。当時の私は、彼女の存在に何度も救われました。その先輩とは今でも仲良くさせていただいており、一生の友となりました。

26歳の時、父からそろそろ自分の会社の手伝いをして欲しいという話があり、父の会社で仕事の手伝いを始めました。最初に開店したお店が軌道に乗ったこともあり、横須賀中央周辺に多い時は4店舗ほど飲食店を経営していました。飲食店経営を続けていく中でお客様を通じてのご縁で不動産を少しずつ保有することになり、飲食店経営から不動産経営に徐々にシフトして行くようになったことが、父からの誘いの理由でした。

平成9年、若松町1丁目の現事務所にて平成ハウジング株式会社として不動産業を開業しました。小さい頃からのんびりしていた私ですが、この不動産業との出会いで自覚や責任のようなものが少しずつ身につき、宅地建物取引士の資格も2度のチャレンジで取得することができ、少し自信につながりました。その後、平成19年に代表取締役であった母より代表を引き継ぎ現在に至ります。開業当初は建売なども行なっていましたが、現在は、賃貸・売買仲介業を主としています。

次に、現在の趣味や興味のあることですが、私は体を動かすことが好きなので、スキューバダイビングやゴルフを少し嗜んでいます。また、月に3~4回のペースで退社後、「すこやかん」のプールに泳ぎに行ったりしています。近年は忙しくなり、なかなか海に潜りに行けませんが、先月、夏休み中に8年振りに三浦の海でリフレッシュダイビングをしてきました。久しぶりに海の中で癒されてきました。また、今はやめてしまいましたが、40歳から8年間ほどモダンバレエを習っていました。姪が4歳の時から始めていて、発表会を観に行く度に、幼い頃バレエを習いたくても多忙な両親に言えなかった憧れの思いと、その頃テレビや雑誌などで「大人のバレエ」特集があったことに触発されて、姪のお教室の大人の初心者クラスに通い始めました。発表会にも何度か参加し、幼い時に憧れていた衣装をつけて踊ることができ、子どもの時の思いが叶いました。踊ることは好きなので、時間ができたら違う踊りを習いに行きたいと思っています。

他には、経験は浅いですが、ボランティア活動にも興味を持っています。東日本大震災のボランティア活動をされている方々の様子を見て、こんな私でも何かお手伝いできることがあったら活動してみたいと思い、インターネット等でボランティアのツアーを探しました。仕事の休みを利用したツアーがなかなか見つからなかったのですが、横浜駅から日帰り夜行バスで宮城県南三陸町に行くボランティアツアーを見つけて一人で参加しました。ボランティア活動の内容は、現地に着かないと分かりませんでした。女性の参加者が多かったこともあってか、ガレキ処理のお手伝いではなく、小学校の校庭の整備や草取りなどのお手伝いをしてきました。理科教室で休憩をとらせてもらい、その学校の生徒さんたちから差し入れや感謝の言葉をいただいた時は、胸がいっぱいになりました。

また、今月も千葉で台風の被害がたくさんありましたが、昨年7月に、岡山県や広島県を中心に西日本豪雨災害が起きた時は、父の故郷である広島県呉市も大きな被害を受けました。災害から1ヶ月後の8月下旬、広島市から呉市ボランティアセンターまでの交通手段が確保できるようになり、ボランティアを志望していた中学3年生の甥と一緒に活動してきました。裏山の土砂が崩れたお宅の庭にある大量の土砂を土嚢袋に入れて三輪車で捨て場に運ぶ作業でした。外見はチャラ男君、まさにやんちゃそうな若者がボランティアリーダーとなったグループでの作業でした。しかしながら、彼は、皆が疲れてくると関西弁で笑いをとって雰囲気良くしてくれたり、休憩時には多方面から来ているメンバーの話を引き出してくれたり、大変な作業でクタクタになりましたが、同時に心地良さや感動をもらって帰ってきました。甥も、「ちゃんとしているって、ああいう人の事を言うんだね・・・。」とぼつりと言っていました。甥にとってもたくさんの学びになった経験となったようです。これからもこのような活動をして行きたいと思っています。

最後になりますが、私は未だ独身です。40代前半までは、いわゆる婚活もしてみました。結果的にご縁をつかめず現在に至っています。ですから、現在も上町の豊島小学校入口近くに両親と垂れ耳がチャームポイントのメスのチワワと暮らしています。この年ですから結婚という形にとらわれないで、永くお付き合いできる同志・パートナーを見つけることができれば幸いだと思っています。日々、感謝の気持ちを忘れず前向きに色々な事を吸収して成長していけるよう努力していきたいと思っています。会員の皆様、これからも宜しく願い致します。本日は貴重な時間を頂戴し、最後までご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 8:15 田邊 会長

週報担当 鷲尾 精一